

7. 本時の指導

(1) 1 / 8時間目

3年1組 佐々木淑子

①本時のねらい

これからの学習について、図書室に展示していた教師作成のあまんきみこ作品の「おにた」紹介カードをもとに、単元の目的を理解したり、学習計画を立てたりしながら、今後の見通しをもち、主体的に学習に臨もうとする意欲を高めることができる。

②本時の展開

学習活動	時	○指導 ・ 指導上の留意点	◇評価 ※備考
1. 図書室に展示していた、あまんきみこ作品の登場人物紹介カードについて知る。	6	○図書室に展示していた、教師作成したあまんきみこ作品の登場人物紹介カードを紹介する。 ・ 3・4年の担任がそれぞれ作成したあまんきみこ作品の登場人物紹介カードを掲示していき、それらが2学期の学習で子どもたちが読んだ本をもとに作成されていることを知らせながら紹介する。	※教師作成の紹介カード「おにたのぼうしのおにた」他
2. 教師作成の紹介カードをもとに意欲を高めながら、本単元の目標をつかむ。	7	○教師作成の紹介カードをもとに「やってみたい」「できそうだ」という意欲を引き出しながら、単元の目標を投げかける。 ・ 今までの学習が図書館の活性化だけでなく3・4年生の先生の読書の幅を広げたことを伝え、自分たちの学びが役に立っていることを実感させていく。特に紹介カードを作りながら交わした教師同士の会話などから子どもたちにも紹介の楽しさが伝わるようにしたい。 ・ 図書館司書の先生のもっと読んでほしい本（斎藤隆介作品）があるという願いにふれながら、斎藤隆介展を開いて全校のみんなに紹介するという本単元の目標を投げかける。 ・ 子どもたちとのやりとりの中で「自分たちもやってみたい」「できそうだ」という言葉や意欲が見られたところで、本時のめあてを提示する。	
3. 紹介カードの作りを知る。	15	○本時のめあてを確認し、紹介カードの分析をさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">④め 紹介カードの作りを知り、学習計画を立てよう。</div> ・ 本の紹介の仕方は様々あるが、今回は登場人物にしぼっていることをおさえたのち、教師の紹介カードを構成するそれぞれのパーツにはどんなことがかかっているかペアで分析させていくようにする。 ・ 教師作成の紹介カード1枚では、プロフィールに書く内容をはっきりとらえることは難しいと思われるので、他の教師が作った紹介カードも準備するが、ここで時間をかけすぎると、高まった意欲がそがれてしまうことも考	

		<p>えられる。そこで、机間指導の際に例を示したり、子どもの発言をまとめたりしながら、大まかにとらえさせ、2時間目以降の活動を通して、具体的につかめるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><予想される子どもの考え> プロフィール...年齢, 性別, 家族構成, 住んでいる所, 暮らしぶりなど 性格...人柄 (やさしい, はずかしがり屋など) 扉の部分...性格が表れている一文とその理由</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・分析が終わったら、紹介カードの基となった本文も見せる。線を引いたり付箋をつけたりした「おにたのぼうし」の全文掲示から、それぞれのパーツをつくるために、どのように読んでいったかを簡単に知らせる。 	
<p>4. 学習計画を考え、学習の見通しを立てる。</p>	<p>7</p>	<p>○学習計画を立てさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斎藤隆介展でイチオシの登場人物を紹介するためには、どのような活動が必要かを投げかけ、短冊に活動内容を書きながら掲示する。子どもたちは教師作成の紹介カードをもとに考えると思われるが順番通りに発言するとは限らないので短冊に書き、あとで入れ替えられるようにする。 ・教科書教材「モチモチの木」で学習できることを伝え、教科書教材と自分の選んだ本の2つの作品で学習を進めていくことを確認する。 ・短冊と教師作成の紹介カードを比べさせながら、学習する順番を考えさせる。 	
<p>5. 本時の活動を振り返る。</p>	<p>10</p>	<p>○今日の学習の振り返りをノートに書かせ、交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師作成の紹介カードについて分析した板書をもとに、これからの学習で、どんな力が付きそうかもおさえながら、本時の振り返りをノートに書かせ、数名に紹介させる。 	<p>◇【関・意・態】 斎藤隆介展で自分のイチオシの登場人物を紹介したいという思いをもち、これからの学習に臨もうとしている。 (振り返り・発言)</p>

①本時のねらい

斎藤隆介展で紹介する豆太の性格について、行動や会話文などの叙述と叙述を関係づけたり、友だちと交流したりすることを通して、様々とらえることができる。

②本時の展開

学習活動	時	○指導 ・指導上の留意点	◇評価 ※備考
<p>子どもたちは、家庭学習として豆太の性格が分かる行動や会話などの叙述に青い付箋を貼っている。また、その付箋にはその叙述からどのような性格が分かるかメモもしている。なお、朝の時間に全文掲示に付箋を貼らせている。</p>			
<p>1. 学習のめあてをつかむ。</p>	<p>3</p>	<p>○本時のめあてを確認する。 ・学習計画や前時の活動を振り返りながら、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>④め 斎藤隆介展でイチオシ登場人物の紹介をするために、豆太の性格をまとめよう。</p> </div>	
<p>2. これからの活動の手がかりを共有する。</p>	<p>10</p>	<p>○全文掲示に付箋を貼った時の気づきから、豆太の性格をまとめる方法を共通理解できるようにする。 ・付箋を貼るときや、貼った後などの気づきを出し合わせながら叙述と叙述を関係付けて見たり、複数の叙述を比べて見たりできるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><予想される子どもの考え> (気づき) <u>選んだ叙述</u>が同じなのに性格が違う ↓ ・「医者様を、よばなくっちゃ！」豆太は、子犬みたいに体を丸めて表戸を体でふっとばして走りだしました。(P42L5) →「やさしい」ととらえた(じさまを助けるため)うなっていたのは、じさまだった(P41L9) →「勇気がある」ととらえた(夜は怖いのに)こわかったからなあ(P43L1) <u>関係づける叙述</u>によって性格も違う</p> <p>(気づき) <u>選んだ叙述</u>が違うのに性格が同じ ↓ ・一人じゃしょうべんもできないのだ(P33L3) ・しょんべんにじさまを起こしたとき(P47L10) →おくびょう <u>いくつかの叙述</u>を関係づけると性格がはっきりする</p> </div>	<p>※あまんきみこ展の紹介カード ※モチモチの木の全文掲示 ※性格を表す言葉</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・気づきについては様々に出ることが予想されるが、ここではできるだけ時間をかけずに活動の見通しをつかませたい。 ・子どもたちの気づきを基に、例えば「戸をふっとばして走れば勇気があるのかな」などと繰り返すことで、豆太の家が人里離れていることや、その時が夜であることなどの場面の様子がわかる叙述に着目させながら、叙述と叙述を関係付けることで豆太の性格がより明確に捉えられることを実感させたい。また、この時に全文揭示を使って叙述と叙述をつなげてみせるなど、関係付けという思考の仕方を可視化することで、これからの学習の手がかりとする。また、友だちの付箋（叙述）が自分のヒントにもなることにも気づかせることで、交流の必然性を持たせたい。 	
<p>3. 豆太の性格をはっきりさせるために交流する。</p>	17	<p>○豆太の性格をはっきりさせるために、友だちと選んだ叙述の交流をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方的に交流させるのではなく、2活をふり返り、交流によって性格がはっきりすることや様々な性格が見えてくることなどを押さえながら、交流の目的を確認する。そして、全文揭示を手がかりに、まずは自分が選んだ叙述と同じところを選んでいる人との交流をするように促す。その後、違うところを選んでいる人との交流をさせるようにする。 ・交流の相手をうまく見つけられない子どもには、声をかける。また、交流の様子をみながら必要に応じて個別に声をかけたり、全体に指示を出したりできるようにする。 ・交流で気づいたことは色の違う付箋に書くように指示しておく。 	
<p>4. 豆太の性格をまとめる。</p>	10	<p>○豆太の性格を紹介カードにまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関係付ける叙述によって、豆太の性格のまとめ方は人それぞれである」ことを伝え、自信をもって性格をまとめることができるよう声掛けをする。 ・性格がまとめられない子には、教師の作成した紹介カードや、付箋を見せたりしながら性格のまとめ方を振り返らせて書けるように指導する。 	<p>◇【Cーウ】 豆太の性格を会話文や行動など複数の叙述に着目し、様々にとらえている。 (発言、付箋、紹介カード)</p>
<p>5. 本時の振り返りをする。</p>	5	<p>○本時の学習について振り返りを書かせ、学びを自覚化させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流で学んだことや気づき、友だちの考えの真似したいことを視点として与え、振り返りを書かせる。 ・何名かに発表させ、本時の学習を終える。 	

①本時のねらい

大好きな登場人物の性格について、「ごん」の性格をとらえるときに複数の叙述を結び付けたことを振り返ったり、友だちと交流したりすることを通して、様々にとらえることができる。

②本時の展開

学習活動	時	○指導 ・ 指導上の留意点	◇評価 ※備考
<p>自分が選んだ大好きな登場人物の性格について、家庭学習で性格を表す根拠となる文章や語句を見付け、付箋をはっている。あらかじめ選んだ本が同じ人で近くなるように座席を配置している。</p>			
1. 本時のめあてを確認する。	3	<p>○学習内容を確認し、本時のめあてを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元全体のめあてや学習計画をふりかえり、本時のめあてを位置づける。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>④め イチオシ登場人物の紹介に向けて、登場人物の性格をまとめよう。</p> </div>	
2. 大好きな登場人物の性格をはっきりさせるために、ごんぎつねでの学びを基に活動の見通しをもつ。	7	<p>○性格をまとめるために学習の見通しを持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ごんぎつね」での学びをふりかえりながら、学習の手順を問うことで、活動の意義を明らかにする。 ・ 交流の視点についても「ごんぎつね」での学びを想起させながら、とらえた性格とそう考えた理由を交流し、叙述と叙述を関係づけたり、叙述と場面の様子を関係づけたりして、性格をはっきりさせてきたことを子どもと共通理解する。その際、ごんぎつねの全文掲示を用い、視覚的にも学びを振り返ることができるようにする。また、時間配分についても子どもと作っていくようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><予想される子どもの反応></p> <p>①友だちと交流する。 →自分の考えをはっきりさせるため 視点：叙述と性格がぴったりか (そう考えた理由や叙述)</p> <p>②ワークシートに人物の性格をまとめる。</p> <p>③他の人物の性格を読む。</p> </div>	
3. 大好きな登場人物の性格をはっきりさせるために、交	18	<p>○イチオシの登場人物の性格について、交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流相手についても子どもと相談しながら、まず同じ本を読んだ人同士で、とらえた性格とそう考えた理由について交流できるようにする。 	<p>※自分が選んだ本を誰が読んでいるかがわかるように作</p>

<p>流をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・同じ本を選んだ人がいなければ作品リストを参照し、同じ本を読んでいる人と交流させる。 ・うまく交流できない子どもに声をかけ、ごんぎつねでの学びを想起させながら、具体的に複数の叙述を指し示し、性格をはっきりさせていく。 	<p>品リストを掲示しておく。</p>
<p>4. 自分の考えをまとめる。</p>	<p>10</p>	<p>○交流を通して考えた人物の性格をまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並行読書材にはっている付箋をもとに、人物の性格をまとめさせる。 ・ごんぎつねでの学びを活かせるように教科書、ごんの紹介カードを参照させる。 ・まとめる途中で困りが出れば全体で共有し、解決を図るようにする。 	<p>◇【Cーウ】</p> <p>登場人物の性格を会話文や行動など複数の叙述に着目し、様々にとらえている。(付箋・振り返り・ワークシート)</p>
<p>5. 本時の振り返りをする。</p>	<p>7</p>	<p>○本時の学習を振り返り、交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りとして、登場人物の性格の理由を書かせる。 ・数人に発表させ、教師が価値づけすることで、個人の学びを共有する。 	